

CITY OF YOKOHAMA

11月25～27日にアジア・スマートシティ会議2025を開催

アジア版「循環型都市宣言制度」の立上げ
について

2025年11月5日
市長定例記者会見



アジア・スマートシティ会議（ASCC）とは



- ▶都市リーダーや国際機関の代表者等と共に、
持続可能な都市づくりの知見を共有する、横浜市主催の国際会議
- ▶地球規模課題への都市の役割などに関する、
国際的な議論を先導するプラットフォームとして成長（今年で14回目）



【2024年度】気候変動への都市の役割、都市間連携の強化、
アジアのリーダーシップを強調（39都市・機関が参加）

日程	11月25日～27日（※） (※) 27日は海外都市向けの視察ツアー
会場	パシフィコ横浜ノース
参加都市・機関	40海外都市・機関（見込み）

プログラム詳細はウェブサイトで公開しています
(QRコードより参照ください)



横浜からはじまる、アジア循環型都市の推進



今年のアジア・スマートシティ会議(ASCC)では、横浜市をはじめとするアジアの都市リーダーが、イクレイ（※）など国際的機関に対し、

アジア版「循環型都市宣言制度」の

設立を公開要望します。

（※）ICLEI - Local Governments for Sustainability

（持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会）

イクレイは、世界2,500以上の自治体による都市ネットワークで、日本では横浜市を含む27自治体が加入

【アジアの都市リーダー】



クアラルンプール
市長



シンガポール
政府機関代表
(Center for
Liveable Cities)



バンコク
都知事

など

【国際的機関の代表者】



イクレイ
日本理事長



イクレイ欧州
副会長
(フィンランド・
トゥルク市長)



国連ESCAP
事務局長

など

欧洲の循環型都市宣言制度①



▶ 欧洲では、「欧洲循環型都市宣言制度」という枠組みのもと、循環型都市への移行が進んでいます。

目的	循環型都市のビジョンを共有し、 地方自治体が果たすべき役割を行動に移す
参加状況	2020年にこの枠組みが設立され、 欧洲22カ国、約90都市に拡大中
効果	宣言（都市リーダーの決意表明） によって、各都市の戦略づくりや具体的な取組が加速している 課題や先進的な施策を 互いに学びあい 、 政策を高めあうことにつながっている 宣言都市がグループとなり、 都市の声 を 欧洲議会など国際社会に届けている



欧洲循環型都市宣言への署名都市(※)マップ
【出所】 Circular Cities Declarationウェブサイト

※ 主な参加都市：ベルリン、ヘルシンキ、オスロ、
コペンハーゲン、アムステルダム大都市圏

欧洲の循環型都市宣言制度②



- ▶ 欧洲循環型都市宣言制度の中心的な役割を担っている国際的機関がイクレイ欧洲
- ▶ 宣言都市向けのセミナーの開催や助言、進捗レポートの作成などを通じて、欧洲の循環型都市の動きを支援



欧洲循環型都市宣言レポート

【出所】Circular Cities Declarationウェブサイト
(イクレイ欧洲事務局が、宣言都市からの報告を受け、取組の進捗状況を検証)

欧洲循環型都市宣言制度のような枠組みを、
アジアで導入する必要性がある

ASCCでの挑戦：制度設立の呼びかけ（11/25）



- ▶イクレイなどに対し
アジア版の循環型都市宣言制度の設立を呼びかけ
- ▶横浜市が発起人（発起都市）となり、アジアの都市リーダーとの共同で、公開書簡（要望書）という形で立上げを要請

【公開書簡に参加予定の都市リーダー】



マレーシア・
クアラルンプール市長



シンガポール国家開発省・
Center for Liveable Cities 代表



タイ・
バンコク都知事



フィリピン・
セブ市長



横浜市長

など

ASCCでの挑戦：国際的な賛同・支援への期待（11/26）



- ▶公開書簡による要望を受け、イクレイなどの国際的機関が、アジア版の循環型都市宣言制度の設立や支援策を公開で議論
- ▶これらの機関から、**公開書簡への賛同や後押し**が期待

【セッションへの登壇予定者】



イクレイ
日本理事長



イクレイ欧洲副会長
(フィンランド・
トゥルク市長)



環境省
地球環境審議官



国連ESCAP
事務局長



オランダ・
サークルエコ
ノミー財団CEO



シティネット
CEO



世界経済フォーラム
日本代表

など

ASCCを循環型都市のプラットフォームに



- 循環型都市への移行は、アジアそして世界の都市にとって大きな挑戦です。
- ASCCを循環型都市の知見が集まるプラットフォームとして成長させ、世界の知見を積極的に取り入れながら、
資源の循環や、新産業・雇用の創出など、横浜の政策力を高めていきます。
- また、横浜市が世界の都市間の知見共有を先導してムーブメントを起こし、アジアを代表する循環型都市に向けた取組を進めます。



「世界目線」の政策を実行して、都市の価値や競争力を高め、
市民が世界に誇れる都市へ